

外 来



部署目標

急性期病院としての地域のニーズに応え、医療、介護、福祉連携を推進していきます。

部署紹介

外来は 39 診療科（各種の専門外来も含む）と、救急外来、中央処置室、化学療法、内視鏡、透析室、それぞれに分かれて診療を行っています。

地域の基幹病院として、2 次救急医療、地域医療支援や地域がん診療連携拠点病院等の役割も担っており、外来看護師は救急室、内視鏡室、透析室での 24 時間対応はもちろんの事、各診療科では在宅療養が継続できるように多職種と連携し、患者さん一人ひとりへの支援を心がけております。



専門的知識や技術を持った看護師が、患者さんやご家族からの療養支援を行う看護外来も開設しております。当院では、ストーマ、失禁外来、スキンケア外来、リンパ浮腫外来、がん看護外来、呼吸ケア外来があり、医師と協力して患者さんのケアサポートを行っています。

内視鏡室

「手術数でわかるいい病院2019」に掲載！
大腸がん 東北第1位！！！！全国第15位！！
胃がん 東北第3位！！！！全国第36位！！



部署紹介

上部内視鏡、下部内視鏡、気管支内視鏡の検査及び治療を行っています。

予定の内視鏡検査・治療だけでなく、緊急内視鏡件数も多く、夜間および土日祝日の昼夜を問わずスタッフが待機し、迅速に対応しております。地域の方々の二次検診の受け入れも含め、超高齢化社会のこの地域では年々対象が高齢の方も増えています。

平成30年度は上部内視鏡5122件（胃癌手術167件、胆道ステント220件）、下部内視鏡3290件（大腸癌手術126件、大腸ステント22件）、気管支内視鏡293件の検査・治療を実施しました。

内視鏡室配属スタッフは現在8名。治療時は、この他に外来スタッフが加わり、対応しています。

私たち、胆沢病院の内視鏡室では、より専門性の高い検査や治療を地域の方々に提供できるよう、最先端の内視鏡治療への理解を深め、患者さんが安全に安心して検査を受けて頂けるよう日々努力しております。

透析室



<人工透析装置>

22台

<体制>

午前・午後（2部体制）

<職員数>

看護師 8名

臨床工学技士 1名

部署目標

親切、丁寧に、安全安心な透析を提供し、
より良い透析生活が送れるようにサポートいたします

部署紹介

当院透析室は地域の基幹病院としての役割を担い、透析導入・腹膜透析をはじめ、24時間の緊急透析対応、急性血液浄化療法を行っています。また、当院では2013年から生体腎移植を開始いたしました。これまでに14例の手術を行い、良好な成績を得ています。3種類の腎代替療法の実施が可能な状態となり、腎代替療法選択外来を開設し患者さま個々のライフスタイルに合わせた治療方法を選択できるように援助しています。

シャントトラブルに対して血栓除去術や血管拡張術を行っております。当院患者さまのみならず、県南部の透析施設の患者さまを紹介していただき、脱血不良・静脈圧不良・穿刺困難などのシャントトラブルにも対応させていただいています。

透析患者さまの生活の質の維持を目的とし医師を中心としたチームで足の観察・ケアを行っております。足病変の早期発見・早期治療を目指して合併症の予防に努めています。

血液透析療法は1回3～5時間と長時間のため、私たちは患者さんが安全安心な治療を受けられるように環境を整え、透析導入時から安定期までの看護を行っています。また多職種と連携し質の高い医療を提供できるように努めて参ります。

